マドリモ

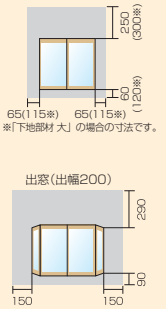
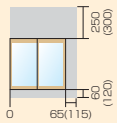
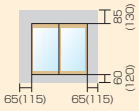
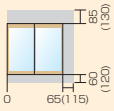
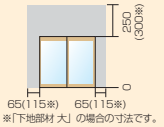
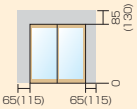
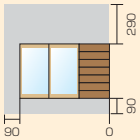
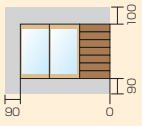
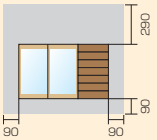
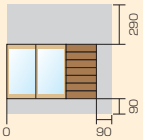
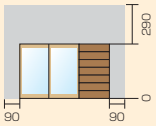


窓⇒シャッター
雨戸⇒シャッター（戸袋のこし/戸袋かくし）

	耐風シャッターGR			標準シャッター	
	リモコンスリットシャッターGR	リモコンシャッターGR	手動シャッターGR	リモコンシャッター	手動シャッター
					

建物		木造・RC造 ※上記以外の躯体には対応不可
既設窓	メーカー	メーカー・シリーズ問わず ※取付条件を満たすものに限る
	材質	樹脂製・アルミ製・スチール製・木製サッシに後付可能
	窓種	窓⇒シャッター：引違い窓・プロジェクト窓・出窓（出幅200）

取付け最小スペース（単位：㎜）※1

	窓・雨戸のまわりに取付スペースがある場合	窓・雨戸の横に余裕がない場合	窓・雨戸の上に余裕がない場合	窓・雨戸の横・上に余裕がない場合	窓・雨戸の下に余裕がない場合※2	窓・雨戸の上と下に余裕がない場合※2
窓⇒シャッター ※（ ）内の寸法はRC納まりの場合です。						
雨戸⇒シャッター（戸袋のこし）			—	—	—	—
雨戸⇒シャッター（戸袋かくし）			—	—		—

製作範囲	シャッターw≦2,920㎜（リモコンスリットシャッターGR・リモコンシャッターGR・手動シャッターGR・リモコンシャッター） シャッターw≦2,942㎜（手動シャッター）

※1 取付けスペース以外に作業スペースが必要です。　※2 耐風シャッターGRの設定はありません。

※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合があるのでご了承ください。

シャッター

対応可否表

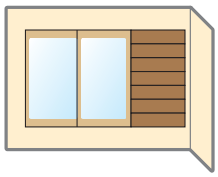
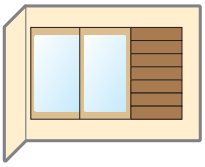
◎：対応可（RC対応可）　●：対応可（RC要相談）　○：対応可（RC対応不可）　－：対応不可

				新設シャッター				
				耐風シャッターGR			リモコンシャッター（JEM-A端子付含む）	手動シャッター
	新設シャッター納まり		既設窓種	リモコンスリットシャッターGR（JEM-A端子付含む）	リモコンシャッターGR（JEM-A端子付含む）	手動シャッターGR		
窓⇒シャッター	標準	下地部材なし・小・大	引違い窓	◎	◎	◎	◎	◎
			プロジェクト窓①	◎	◎	－	◎	－
			プロジェクト窓②・勝手口・他	●	●	－	●	－
	片入隅		引違い窓	◎	◎	◎	◎	◎
			プロジェクト窓①	◎	◎	－	◎	－
			プロジェクト窓②・勝手口・他	－	－	－	－	－
	ボックス下げ		引違い窓	◎	◎	◎	◎	◎
			プロジェクト窓①	◎	◎	－	◎	－
			プロジェクト窓②・勝手口・他	－	－	－	－	－
	ボックス下げ片入隅		引違い窓	◎	◎	◎	◎	◎
			プロジェクト窓①	◎	◎	－	◎	－
			プロジェクト窓②・勝手口・他	－	－	－	－	－
	土間用	下地部材なし・小・大	引違い窓	◎※2	－	－	◎	◎
			プロジェクト窓①	◎※2	－	－	◎	－
			プロジェクト窓②・勝手口・他	●※2	－	－	●	－
	土間用ボックス下げ		引違い窓	◎※2	－	－	◎	◎
			プロジェクト窓①	◎※2	－	－	◎	－
			プロジェクト窓②・勝手口・他	●※2	－	－	●	－
	バルコニーFRP防水向け工法 標準		引違い窓	○	○	○	○	○
	バルコニーFRP防水向け工法 ボックス下げ		引違い窓	○	○	○	○	○
	出窓（出幅200）対応 標準※3		出窓（出幅200）	○	○	○	○	○
雨戸⇒シャッター	戸袋のこし	標準	雨戸付引違い窓	○	○	○	○	○
		片入隅（戸袋側）※1	雨戸付引違い窓	○	○	○	○	○
		ボックス下げ	雨戸付引違い窓	○	○	○	○	○
		ボックス下げ片入隅（戸袋側）※1	雨戸付引違い窓	○	○	○	○	○
	戸袋かくし	標準	雨戸付引違い窓	○	○	○	○	○
		片入隅（窓側）※1	雨戸付引違い窓	○	○	○	○	○
		土間用	雨戸付引違い窓	○	－	－	○	○

引違い窓　：引違い窓・引違いテラス戸・片引き窓・両袖片引き窓・大開口窓
プロジェクト窓①　：上げ下げ窓・FIX窓・内倒し窓・内開き窓・ドレーキップ窓
プロジェクト窓②・勝手口・他：たてすべり出し窓・すべり出し窓・オーニング窓・ガラスルーバー窓・外倒し窓・外開き窓・開き窓テラス・テラスドア・勝手口ドア・通風ドア・片開きドア・セカンドドア
出窓（出幅200）　：外壁からの出幅が235㎜以下、対応W寸法は6尺以下の台形出窓、角形出窓
雨戸　：雨戸付窓

※1 雨戸⇒シャッターかつ片入隅の場合は、下記の「雨戸⇒シャッターの片入隅・ボックス下げ片入隅の対応可否について」を必ずご確認ください。
※2 土間用はリモコンスリットシャッターの設定になります。
※3 発注の際、見積システムでは雨戸⇒シャッター（戸袋かくし）から選択してください。

● 雨戸⇒シャッターの片入隅・ボックス下げ片入隅の対応可否について

		戸袋側が入隅	窓側が入隅
		（外観図）	（外観図）
戸袋のこし	片入隅/ボックス下げ片入隅	○	－
戸袋かくし	片入隅	－	○

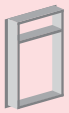
注意事項

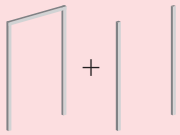
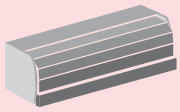
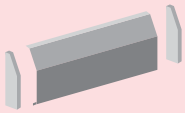
- 本商品は、防火設備ではありませんので、建築基準法などにより防火設備の設置が義務付けられる部分に設置することはできません。
- マドリモ シャッターの取付けや、マドリモ シャッターの取付けによる窓の開口面積の減少により、建築基準法などで定められた採光/換気/排煙面積、排煙設備、非常用進入口の構造などの基準を満たさなくなるおそれがあります。あらかじめ現場条件、関連法規などをご確認ください。

手配商品一覧

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様
製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

● 既設：窓⇒新設：シャッター

		枠部セット		
		シャッター枠	専用下地部材	
出窓（出幅200）	標準			

	シャッター部セット			部品セット
枠カバー	シャッター本体	点検板	ガイドレール	
				出窓(出幅200) 対応部材セット

リモコンスリットシャッターGR

窓⇒シャッター

納まり：出窓（出幅200）対応　標準

商品色			
B1	ブラウン	S1	ピュアシルバー
B7	カームブラック	YW	ホワイト
H2	プラチナステン		

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコンスリットシャッターGR
リモコンシャッターGR
リモコンシャッター
手動シャッターGR
手動シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコンスリットシャッターGR
リモコンシャッターGR
リモコンシャッター
手動シャッターGR
手動シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコンスリットシャッターGR
リモコンシャッターGR
リモコンシャッター
手動シャッターGR
手動シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

合計価格　責任施工販売商品（電動）

標準

単位:mm

現場測定高MH	シャッターh（SH）	H呼称	外観姿図	現場測定幅MW 1,357～1,856 シャッターw(SW) 1,388～1,887 W呼称 119
718～834	771～887	07	専用下地部材	￥465,400
835～1,234	888～1,287	11	専用下地部材	￥479,200
1,235～1,570	1,288～1,623	13	専用下地部材	￥488,900

RWSS001 9

発注例

シャッター部セット：△RHS-○○○●●-XJA2W(J)(T)R
（W呼称 H呼称）
J：JEM-A端子付
T：点検板無
R・L：どちらの勝手を選択しても、同一商品となります。

枠部セット　：△RHS-○○○●●-XJA
（W呼称 H呼称）

△：商品色

・上記「W呼称・H呼称」を入れた商品記号によるサイズオーダー発注となります。

■掲載価格について

表内の価格はシャッター部セットと枠部セットの合計価格です。

合計価格 ＝ シャッター部セット ＋ 枠部セット

※セットの詳細は手配商品一覧をご参照ください。

■必須手配品（出窓（出幅200）対応用部材セット）について

シャッター部セットと枠部セットに加え、下記の出窓（出幅200）対応用部材セットの手配が必須です。

記　号	価　格
△RHS-L-2	¥4,300

※記号の前の△に下表の部材色をご指示ください。

商品色	部材色
B1	DG
B7	
H2	YS
S1	
YW	

※必須手配品は現地での取付です。

●表示価格には消費税、 搬入費、 施工費等は含まれていません。
●表示サイズの単位はmmで表記しています。

参　照

手配商品一覧 …… —
現場調査シート …… —
ご注意 …… P.200

注

・シャッターの発注前に必ず現場調査を行ってください。
　現場調査シートにて確認した内容および、測定寸法(MW・MH)または算出寸法(SW・SH)にてご発注ください。
・点検板無の場合は商品記号に**T**を付けてご発注ください。

■非常開放機構について

本商品は非常開放機構がありませんので、別途避難経路を設けられない部屋では使用しないでください。

■JEM-A端子付について

JEM-A端子付は、規格表の価格に下記の価格が加算されます。

リモコンスリットシャッターGR JEM-A端子付	+¥38,000

※リモコンスリットシャッターGR JEM-A端子付は商品記号に**J**を付けてご発注ください。

■横桟・耐風ポールについて

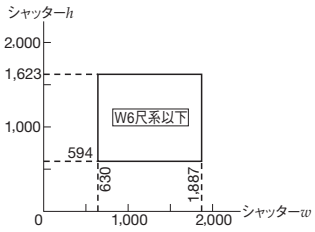
規格表には横桟・耐風ポール無の価格を掲載しています。
横桟・耐風ポール付の場合は、規格表の価格に右記の価格が加算されます。

発注例：△**RHS-Y-○○○○○-XJTA**

呼称高	呼称幅	119
07	サイズ呼称	**11907**
	加算額	＋¥38,100
11	サイズ呼称	**11911**
	加算額	＋¥39,500
13	サイズ呼称	**11913**
	加算額	＋¥40,100

RWSSTP5

■製作範囲



■シャッター部の耐風圧性能について

耐風圧性能はWサイズによって異なります。

横桟・耐風ポール付	W6尺系以下	2,400Pa(負圧のみ)
横桟・耐風ポール無	W6尺系以下	1,200Pa(負圧のみ)

※一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

リモコンシャッターGR

窓⇒シャッター

納まり：出窓（出幅 200）対応　標準

商品色			
B1	ブラウン	S1	ピュアシルバー
B7	カームブラック	YW	ホワイト
H2	プラチナステン		

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図

合計価格 責任施工販売商品（電動）

標準

単位:mm

現場測定高MH	シャッターh（SH）	H呼称	外観姿図	現場測定幅MW 1,069～1,856 / シャッターw(SW) 1,100～1,887 / W呼称 119
718～834	771～887	07	専用下地部材	￥337,300
835～1,234	888～1,287	11	専用下地部材	￥348,400
1,235～1,570	1,288～1,623	13	専用下地部材	￥355,300

RWSS002 16

発注例

シャッター部セット：△**RHS-○○○●●-XJT2S(J)(T)R**
（W呼称 H呼称）
J：JEM-A端子付
T：点検板無
R・L：どちらの勝手を選択しても、同一商品となります。

枠部セット　：△**RHS-○○○●●-XJA**
（W呼称 H呼称）

△：商品色

・上記「W呼称・H呼称」を入れた商品記号によるサイズオーダー発注となります。

■掲載価格について

表内の価格はシャッター部セットと枠部セットの合計価格です。

合計価格 ＝ シャッター部セット ＋ 枠部セット

※セットの詳細は手配商品一覧をご参照ください。

■必須手配品（出窓（出幅200）対応用部材セット）について

シャッター部セットと枠部セットに加え、下記の出窓（出幅200）対応用部材セットの手配が必須です。

記　号	価　格
△**RHS-L-2**	¥4,300

※記号の前の△に下表の部材色をご指示ください。

商品色	部材色
B1	DG
B7	
H2	YS
S1	
YW	

※必須手配品は現地での取付です。

窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

●表示価格には消費税、 搬入費、 施工費等は含まれていません。
●表示サイズの単位はmmで表記しています。

参　照
手配商品一覧 …… —
現場調査シート …… —
ご注意 …… P.200

規格表 — | 製作範囲 — | 技術資料 P.84 | オプション・別売品 P.82 | 納まり図 —

注

・シャッターの発注前に必ず現場調査を行ってください。
　現場調査シートにて確認した内容および、測定寸法(MW・MH)または算出寸法(SW・SH)にてご発注ください。
・点検板無の場合は商品記号に**T**を付けてご発注ください。

■非常開放機構について

本商品は非常開放機構がありませんので、別途避難経路を設けられない部屋では使用しないでください。

■JEM-A端子付について

JEM-A端子付は、規格表の価格に下記の価格が加算されます。

リモコンシャッターGR JEM-A端子付	+¥38,000

※リモコンシャッターGR JEM-A端子付は商品記号に**J**を付けてご発注ください。

■横桟・耐風ポールについて

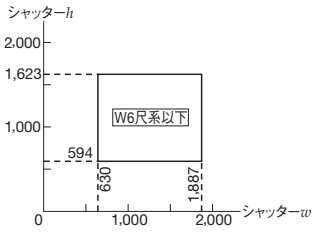
規格表には横桟・耐風ポール無の価格を掲載しています。
横桟・耐風ポール付の場合は、規格表の価格に右記の価格が加算されます。

発注例：△**RHS-Y-○○○○○-XJTA**

呼称高	呼称幅	119
07	サイズ呼称	**11907**
	加算額	＋¥38,100
11	サイズ呼称	**11911**
	加算額	＋¥39,500
13	サイズ呼称	**11913**
	加算額	＋¥40,100

RWSSTP5

■製作範囲



■シャッター部の耐風圧性能について

耐風圧性能はWサイズによって異なります。

横桟・耐風ポール付	W6尺系以下	2,000Pa(負圧のみ)
横桟・耐風ポール無	W6尺系以下	1,200Pa(負圧のみ)

※一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

リモコンシャッター

窓⇒シャッター

納まり：出窓（出幅 200）対応　標準

商品色			
B1	ブラウン	S1	ピュアシルバー
B7	カームブラック	YW	ホワイト
H2	プラチナステン		

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

合計価格　責任施工販売商品（電動）

標準

単位:mm

現場測定高MH	シャッターh（SH）	H呼称	外観姿図	現場測定幅MW 1,069～1,856 シャッターw(SW) 1,100～1,887 W呼称 119
718～834	771～887	07	専用下地部材	￥332,300
835～1,234	888～1,287	11	専用下地部材	￥343,400
1,235～1,570	1,288～1,623	13	専用下地部材	￥350,300

RWSS002 15

発注例

シャッター部セット：△**RHS-**○○○●●**-XJS2S(J)(T)R**
（W呼称 H呼称）
J：JEM-A端子付
T：点検板無
R・L：どちらの勝手を選択しても、同一商品となります。

枠部セット　：△**RHS-**○○○●●**-XJA**
（W呼称 H呼称）

△：商品色

・上記「W呼称・H呼称」を入れた商品記号によるサイズオーダー発注となります。

■掲載価格について

表内の価格はシャッター部セットと枠部セットの合計価格です。

合計価格 ＝ シャッター部セット ＋ 枠部セット

※セットの詳細は手配商品一覧をご参照ください。

■必須手配品（出窓（出幅200）対応用部材セット）について

シャッター部セットと枠部セットに加え、下記の出窓（出幅200）対応用部材セットの手配が必須です。

記　号	価　格
△**RHS-L-2**	¥4,300

※記号の前の△に下表の部材色をご指示ください。

商品色	部材色
B1	DG
B7	
H2	YS
S1	
YW	

※必須手配品は現地での取付です。

●表示価格には消費税、 搬入費、 施工費等は含まれていません。
●表示サイズの単位はmmで表記しています。

参照
手配商品一覧 …… —
現場調査シート …… —
ご注意 …… P.200

注

・シャッターの発注前に必ず現場調査を行ってください。
現場調査シートにて確認した内容および、測定寸法(MW・MH)または算出寸法(SW・SH)にてご発注ください。
・点検板無の場合は商品記号に**T**を付けてご発注ください。

■非常開放機構について

本商品は非常開放機構がありませんので、別途避難経路を設けられない部屋では使用しないでください。

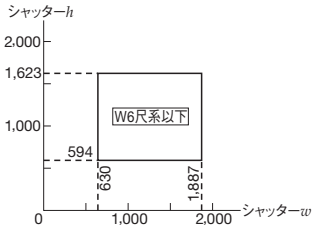
■JEM-A端子付について

JEM-A端子付は、規格表の価格に下記の価格が加算されます。

リモコンシャッター JEM-A端子付	+¥38,000

※リモコンシャッター JEM-A端子付は商品記号に**J**を付けてご発注ください。

■製作範囲



■シャッター部の耐風圧性能について

耐風圧性能はWサイズによって異なります。

W6尺系以下	800Pa(負圧のみ)

※一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

手動シャッターGR

窓⇒シャッター

納まり：出窓（出幅200）対応　標準

商品色			
B1	ブラウン	S1	ピュアシルバー
B7	カームブラック	YW	ホワイト
H2	プラチナステン		

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコンスリットシャッターGR
リモコンシャッターGR
リモコンシャッター
手動シャッターGR
手動シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコンスリットシャッターGR
リモコンシャッターGR
リモコンシャッター
手動シャッターGR
手動シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコンスリットシャッターGR
リモコンシャッターGR
リモコンシャッター
手動シャッターGR
手動シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

合計価格

標準

単位:mm

現場測定高MH	シャッターh（SH）	H呼称	外観姿図	現場測定幅MW 599～1,856 / シャッターw(SW) 630～1,887 / W呼称 119
541～834	594～887	07	専用下地部材	￥260,900
835～1,234	888～1,287	11	専用下地部材	￥272,400
1,235～1,570	1,288～1,623	13	専用下地部材	￥279,500

RWSS003 16

発注例

シャッター部セット：△**RHS-○○○●●-XJT2M(T)R**
（W呼称 H呼称）
T：点検板無
R・L：どちらの勝手を選択しても、同一商品となります。

枠部セット　：△**RHS-○○○●●-XJTM**
（W呼称 H呼称）

△：商品色

・上記「W呼称・H呼称」を入れた商品記号によるサイズオーダー発注となります。

■掲載価格について

表内の価格はシャッター部セットと枠部セットの合計価格です。

合計価格 ＝ シャッター部セット ＋ 枠部セット

※セットの詳細は手配商品一覧をご参照ください。

■必須手配品（出窓（出幅200）対応用部材セット）について

シャッター部セットと枠部セットに加え、下記の出窓（出幅200）対応用部材セットの手配が必須です。

記　号	価　格
△**RHS-L-2**	¥4,300

※記号の前の△に下表の部材色をご指示ください。

商品色	部材色
B1	DG
B7	
H2	YS
S1	
YW	

※必須手配品は現地での取付です。

●表示価格には消費税、 搬入費、 施工費等は含まれていません。
●表示サイズの単位はmmで表記しています。

参　照
手配商品一覧 …… —
現場調査シート …… —
ご注意 …… P.200

規格表 —
製作範囲 —
技術資料 P.84
オプション・別売品 P.82
納まり図 —

注

・シャッターの発注前に必ず現場調査を行ってください。
　現場調査シートにて確認した内容および、測定寸法(MW・MH)または算出寸法(SW・SH)にてご発注ください。
・点検板無の場合は商品記号に**T**を付けてご発注ください。

■横桟・耐風ポールについて

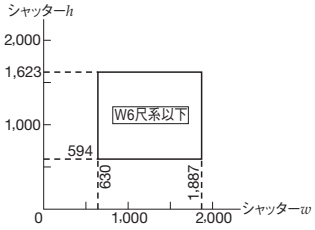
規格表には横桟・耐風ポール無の価格を掲載しています。
横桟・耐風ポール付の場合は、規格表の価格に右記の価格が加算されます。

発注例：△**RHS-Y-○○○○○-XJTM**

呼称高	呼称幅	119
07	サイズ呼称	**11907**
	加算額	＋￥38,100
11	サイズ呼称	**11911**
	加算額	＋￥39,500
13	サイズ呼称	**11913**
	加算額	＋￥40,100

RWSSTP5

■製作範囲



■シャッター部の耐風圧性能について

耐風圧性能はWサイズによって異なります。

横桟・耐風ポール付	W6尺系以下	2,000Pa(負圧のみ)
横桟・耐風ポール無	W6尺系以下	1,200Pa(負圧のみ)

※一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

マドリモ シャッター

手動シャッター

窓⇒シャッター

納まり：出窓（出幅200）対応　標準

商品色			
B1	ブラウン	S1	ピュアシルバー
B7	カームブラック	YW	ホワイト
H2	プラチナステン		

合計価格

標準

単位:mm

現場測定高MH	シャッターh（SH）	H呼称	現場測定幅MW / シャッターw(SW) / W呼称 / 外観姿図	577～1,856 / 630～1,909 / 119 / 
541～834	594～887	07	専用下地部材	￥254,400
835～1,234	888～1,287	11	専用下地部材	￥265,900
1,235～1,570	1,288～1,623	13	専用下地部材	￥273,000

RWSS003 15

発注例

シャッター部セット：△RHS-○○○●●-XJS2M(T)R
（W呼称 H呼称）
T：点検板無
R・L：どちらの勝手を選択しても、同一商品となります。

枠部セット　：△RHS-○○○●●-XJM
（W呼称 H呼称）

△：商品色

・上記「W呼称・H呼称」を入れた商品記号によるサイズオーダー発注となります。

■掲載価格について

表内の価格はシャッター部セットと枠部セットの合計価格です。

合計価格 ＝ シャッター部セット ＋ 枠部セット

※セットの詳細は手配商品一覧をご参照ください。

■必須手配品（出窓（出幅200）対応用部材セット）について

シャッター部セットと枠部セットに加え、下記の出窓（出幅200）対応用部材セットの手配が必須です。

記　号	価　格
△RHS-L-2	¥4,300

※記号の前の△に下表の部材色をご指示ください。

商品色	部材色
B1	DG
B7	
H2	YS
S1	
YW	

※必須手配品は現地での取付です。

●表示価格には消費税、 搬入費、 施工費等は含まれていません。
●表示サイズの単位はmmで表記しています。

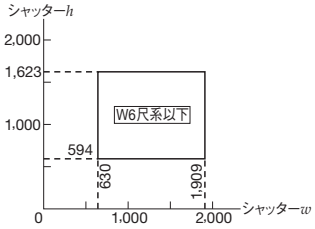
参　照

手配商品一覧 …… —
現場調査シート …… —
ご注意 …… P.200

注

・シャッターの発注前に必ず現場調査を行ってください。
　現場調査シートにて確認した内容および、測定寸法(MW・MH)または算出寸法(SW・SH)にてご発注ください。
・点検板無の場合は商品記号に**T**を付けてご発注ください。

■製作範囲



■シャッター部の耐風圧性能について

耐風圧性能はWサイズによって
異なります。

W6尺系以下	800Pa(負圧のみ)

※一部機種・サイズで上記性能に該当しないものがあります。

現場調査マニュアル

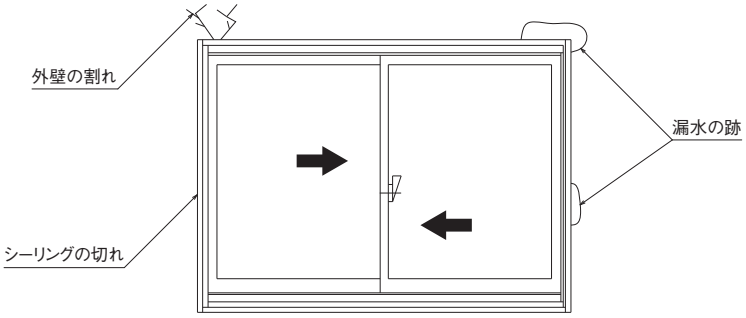
木造の場合

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

既設窓枠まわり・躯体の状況

■既設窓枠まわりにシーリングの切れ、外壁の割れ、漏水の跡がないことの確認

いずれかが確認された場合、必ず施主様、工務店様へ補修工事の必要性を説明し、シャッター枠取付前に修復してください。



外観図

■柱位置の確認

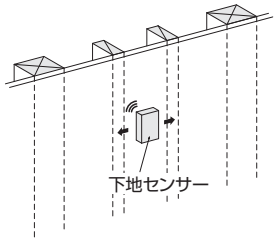
シャッター取付ねじが柱端部から10㎜以上の位置になることを確認してください。

<確認方法>

①建築図面による柱位置の確認

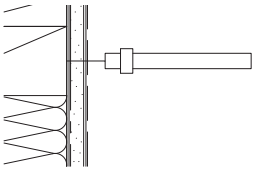
②打診、下地センサー、下地探し針による柱位置の確認

●下地センサーで確認する場合

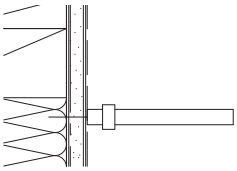


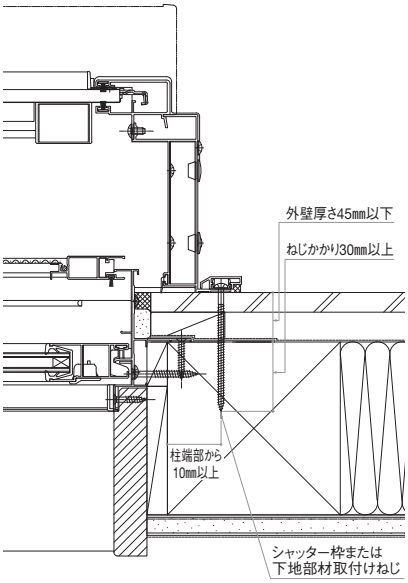
●下地探し針で確認する場合

〈下地がある場所〉
窓台・胴縁・間柱に当たり、手ごたえがあります。



〈下地がない場所〉
手ごたえがありません。





<ご注意>

納まりによってねじ位置が異なります。各納まり図でねじ位置を確認してください。

①、②の方法で柱位置が確認できない場合は、ご使用をやめてください。

■ねじかかり寸法の確認

シャッター取付ねじが、柱に30㎜以上かかることを確認してください。

<確認方法>

①建築図面による外壁厚さの確認

②実際に下穴を開けて柱までの距離を測定

<ご注意>

外壁厚さ：45㎜を超える場合は取付不可です。

●表示サイズの単位は㎜で表記しています。

■取付けスペースの確認

シャッターの取付けには下記寸法が必要となります。各寸法が確保できることを確認してください。

●対応可能な外壁からのサッシ出寸法

窓⇒シャッター

（単位：㎜）

標準				片入隅	ボックス下げ※	ボックス下げ片入隅	土間用			
下地部材なし	下地部材 小※	下地部材 大※	出窓(出幅200)対応				下地部材なし	下地部材 小	下地部材 大	ボックス下げ
85	110	152	235	37	37	37	85	110	152	37

※バルコニー FRP向け工法対応可能

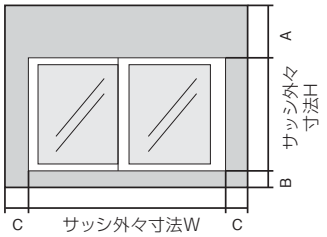
雨戸⇒シャッター

（単位：㎜）

	戸袋のこし				戸袋かくし		
	標準	片入隅	ボックス下げ	ボックス下げ片入隅	標準	片入隅	土間用
窓側	120	120	120	120		120	
戸袋側					235	235	235

●本商品の取付けに必要なスペース

窓⇒シャッター

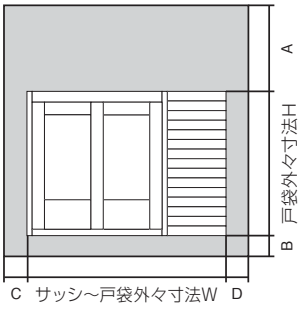


（単位：㎜）

	標準				片入隅	ボックス下げ※	ボックス下げ片入隅	土間用			
	下地部材なし	下地部材小※	下地部材大※	出窓（出幅200）対応				下地部材なし	下地部材小	下地部材大	ボックス下げ
A	250			290	250	85	85	250			85
B	60			90	60	60	60	—			—
C	65			150	入隅側：0 入隅でない側：65	65	入隅側：0 入隅でない側：65	65			65
備考				出窓枠外～屋根外の寸法が60㎜以下のこと	両入隅には取付けできません		両入隅には取付けできません				

※バルコニー FRP向け工法対応可能

雨戸⇒シャッター



（単位：㎜）

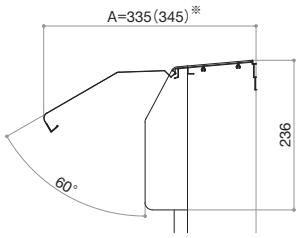
	戸袋のこし				戸袋かくし		
	標準	片入隅	ボックス下げ	ボックス下げ片入隅	標準	片入隅	土間用
A	290	290	100	100	290	290	290
B	90	90	90	90	90	90	—
C（窓側）	90	90	90	90	90	0	90
D（戸袋側）	0	0	0	0	90	90	90
備考				両入隅には取付けできません		両入隅には取付けできません	

※サッシに水切がついている場合は、水切の下端からB寸法を確認してください。
※上記寸法以外に作業スペースが必要です。

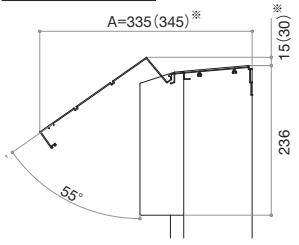
●シャッターボックスの取付けに必要なスペース
（Aは下地部材なしの場合。下地部材ありの場合は下表の値になります。）

（単位：㎜）

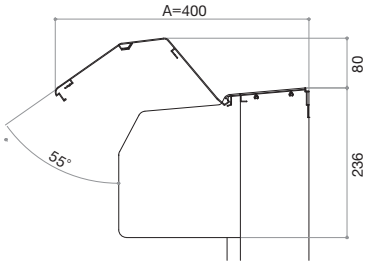
標準タイプ点検板



ラインタイプ点検板



ひさしタイプ点検板



※（ ）：リモコンスリットシャッターGRの場合

《下地部材ありの場合》

窓⇒シャッター	下地部材 小	A+25
	下地部材 大・専用下地部材	A+67
	出窓(出幅200)対応 専用下地部材	A+150
雨戸⇒シャッター	専用下地部材	A+150

現場調査に使用する工具・道具

＜工具・道具＞

●巻尺　●アルミスタッフ ※一人作業や大きなサイズの内法測定に適しています。　●水準器 ※既設枠の水平・垂直を確認します。
●直尺　●下げ振り ※既設枠の垂直を確認します。　●下地センサー　●下地探し針

現場調査マニュアル

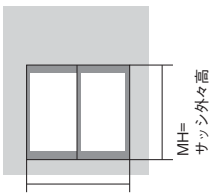
木造の場合

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図
窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター
窓⇒雨戸
木製雨戸⇒雨戸

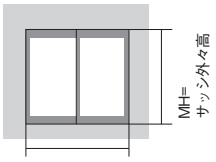
発注のための寸法計測［窓⇒シャッター］

<標準・ボックス下げ>の場合

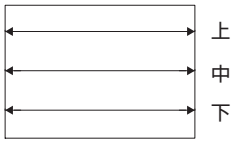
標準



ボックス下げ

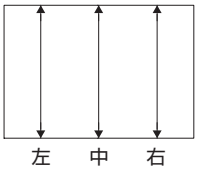


●幅の測定



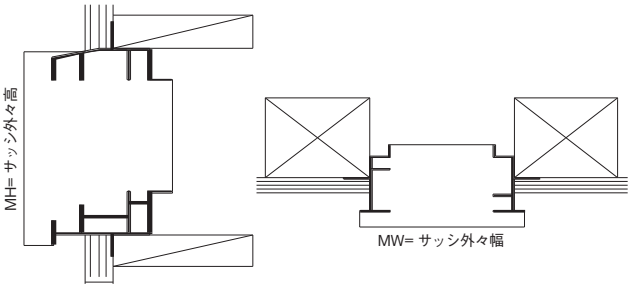
上、中、下、3箇所の幅を測定します。
既設窓枠の最も外側の部分で測定します。
3箇所のうち最大寸法を
サッシ外々幅MWとします。

●高さの測定

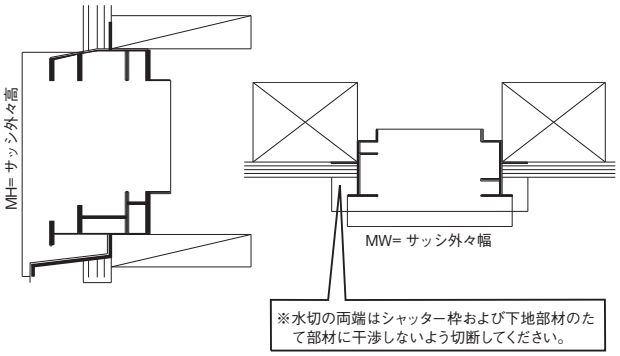


左、中、右、3箇所の高さを測定します。
既設窓枠の最も外側の部分で測定します。
3箇所のうち最大寸法を
サッシ外々高MHとします。

水切がない場合

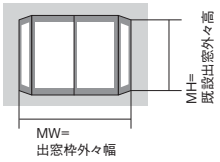


水切がある場合

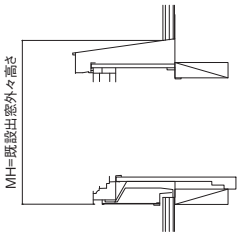


※水切の両端はシャッター枠および下地部材のたて部材に干渉しないよう切断してください。

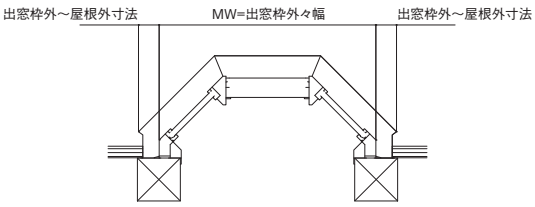
出窓（出幅200）対応　標準



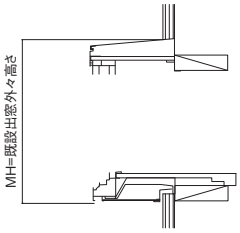
①寄棟屋根の場合



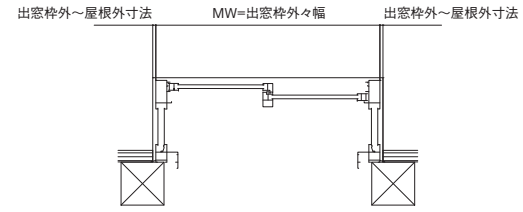
②-1　台形の場合



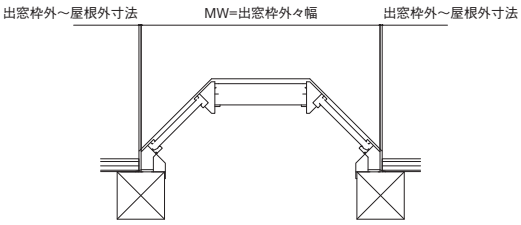
②切妻屋根の場合



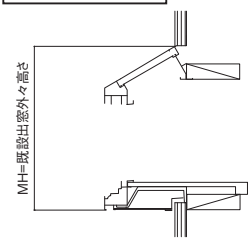
②-1　角型の場合



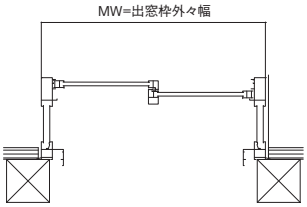
②-2　台形の場合



③トップライトの場合

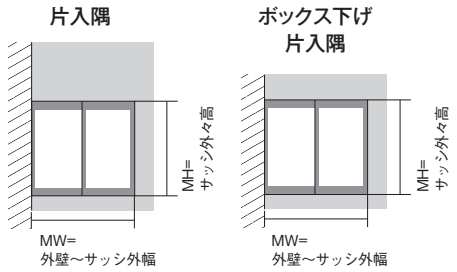


②-1　角型の場合

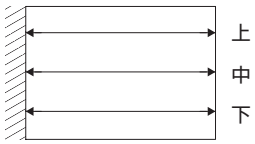


●表示サイズの単位は㎜で表記しています。

<片入隅・ボックス下げ片入隅>の場合

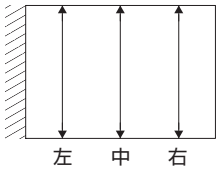


●幅の測定

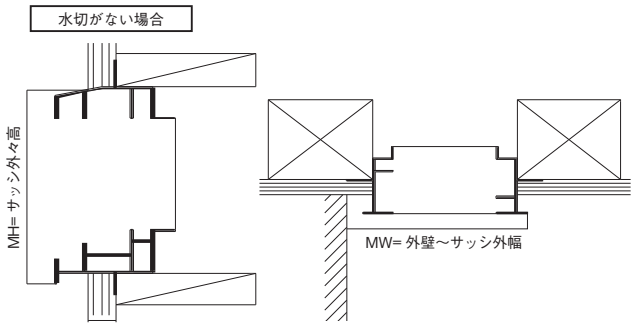


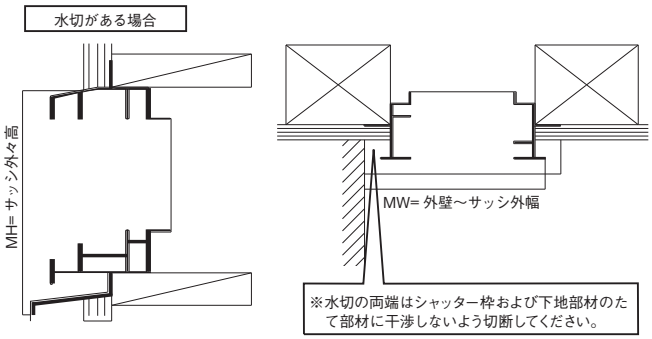
上、中、下、3箇所の幅を測定します。
入隅側の外壁から既設窓枠の
最も外側の部分で測定します。
3箇所のうち最大寸法を
外壁〜サッシ外幅MWとします。

●高さの測定

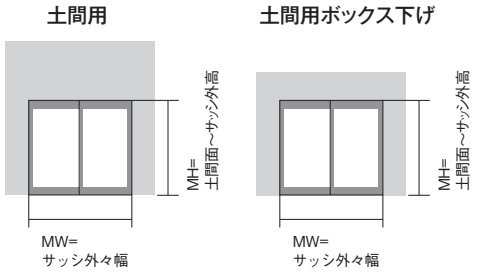


左、中、右、3箇所の高さを測定します。
既設窓枠の最も外側の部分で測定します。
3箇所のうち最大寸法を
サッシ外々高MHとします。

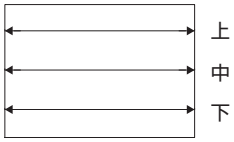




<土間用・土間用ボックス下げ>の場合

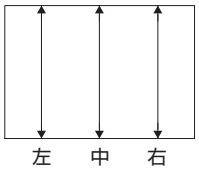


●幅の測定

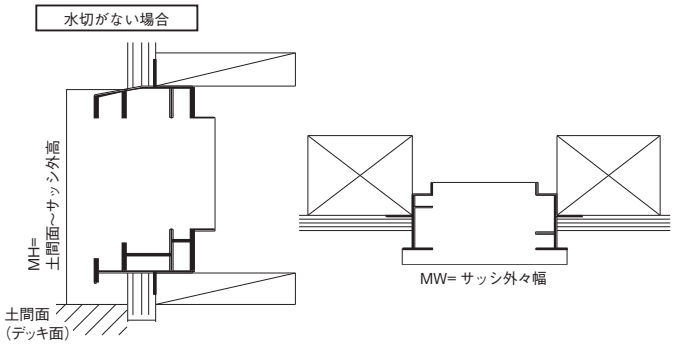


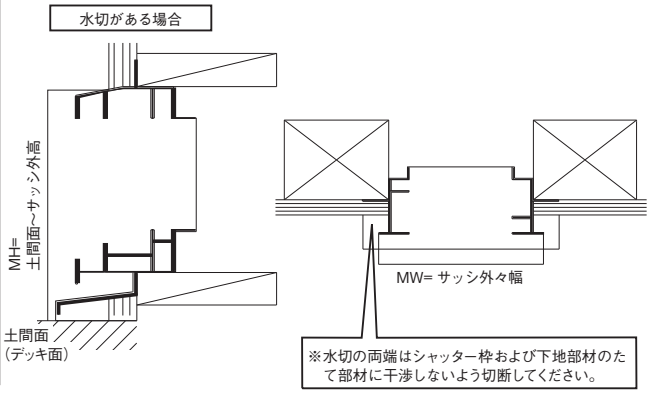
上、中、下、3箇所の幅を測定します。
既設窓枠の最も外側の部分で測定します。
3箇所のうち最大寸法を
サッシ外々幅MWとします。

●高さの測定



左、中、右、3箇所の高さを測定します。
土間面から既設窓枠の最も外側の
部分で測定します。
3箇所のうち最大寸法を
土間面〜サッシ外高MHとします。





施工に使用する工具・道具・別途手配品

<工具・道具>

- ●電動ドリル(トルク調整式)
- ●はさみ
- ●ケガキ針
- ●巻尺
- ●マグネット入りビット
- ●直尺
- ●下げ振り
- ●下地探し針
- ●ハンマー
- ●ドライバー(手回し)
- ●ポンチ
- ●水準器
- ●下地センサー
- ●ドリル刃(φ3.5、φ4.5、φ10)
- ●シーリングガン
- ●ホールソー(φ18)

※外壁つぶれ防止部品を使用する場合に必要です。

<別途手配品>

- ●シーリング材
- ●両面テープ

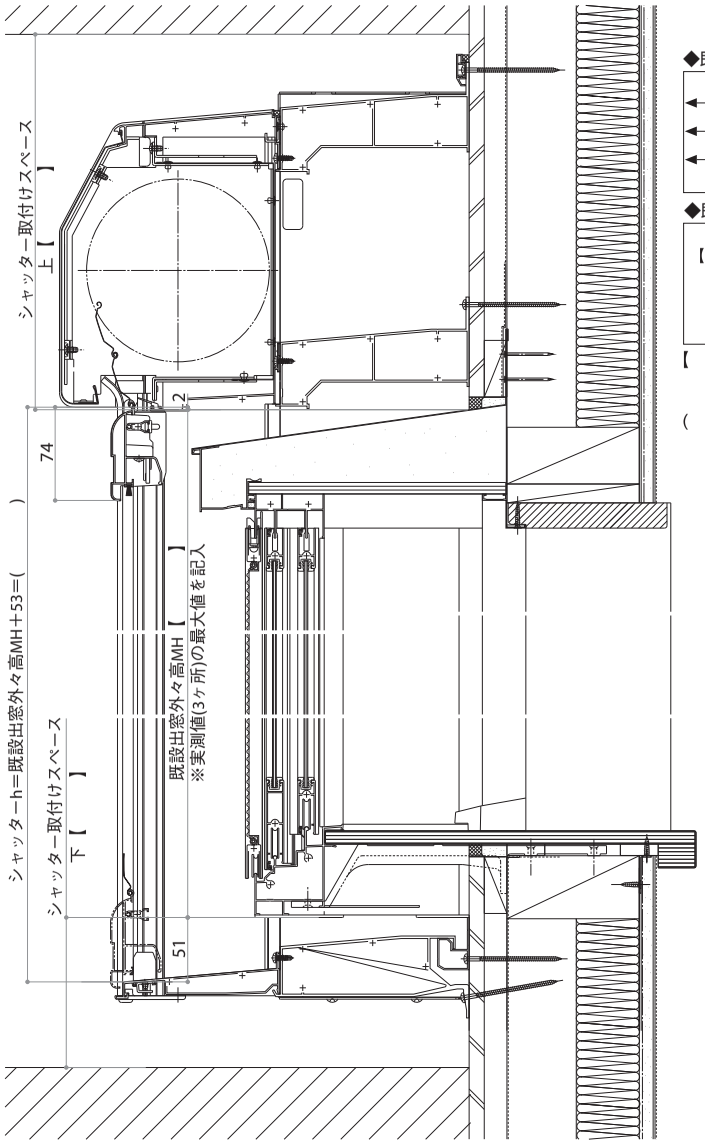
■現場調査 / 情報共有シート【窓⇒シャッター】

縮尺 1／6　単位:mm

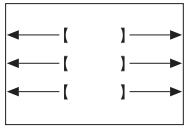
●表示サイズの単位はmmで表記しています。

マドリモ シャッター　現場調査/情報共有シート

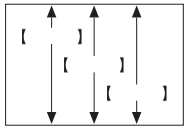
窓⇒シャッター
【出窓(出幅200)の場合】



◆既設出窓枠外々幅



◆既設出窓外々高



【　】:実測した値を記入してください。(単位:mm)

(　　):実測した値をもとに計算した数値を記入してください。(単位:mm)

測定位置		実測値[mm]	シャッター取付け可否判断			
			測定寸法	該当箇所に○	取付け可否	
					標準	備考
外壁からの出窓出寸法(屋根部含む)			235mm以下		○	
			235mmを超える		×	いずれの納まりでも対応不可です
出窓枠外～屋根外の寸法			60㎜以下		○	
			60㎜を超える		×	
シャッター取付けスペース	上		290mm以上		○	
			290mm未満		×	いずれの納まりでも対応不可です
	下		90mm以上		○	
			90mm未満		×	いずれの納まりでも対応不可です
	左右	外観左: 外観右:	150mm以上		○	
			150mm未満		×	いずれの納まりでも対応不可です

※既設サッシと干渉する場合は、シャッターサイズを大きくしてください。
※シャッターサイズを変更した場合、取付に必要なスペースが変わります。
変更後のサイズで取付に問題がないことを確認してください。

発注の際は、下表の内容で入力してください。

●納まり

戸袋かくし
標準
○

●発注寸法の算出

	実測値[mm]		発注寸法 シャッター寸法
シャッターw:SW	MW:	＋53(手動)	
		＋31(電動※)	
シャッターh:SH	MH:	＋53	

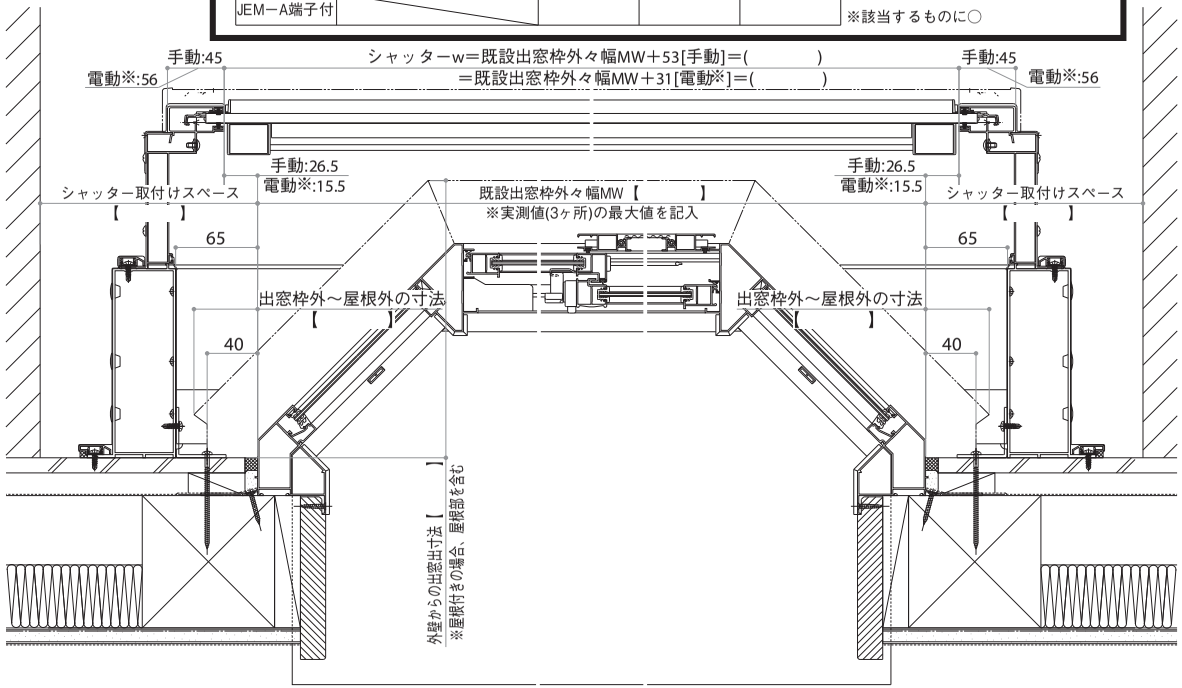
シャッターw,h(SW,SH)で発注してください。
戸袋かくしとは算出公式が異なります。
実測寸法では手配できません。

●取付けるシャッターの種類

※手動シャッターGRも含む

	手動シャッター		リモコンシャッター		リモコンスリットシャッターGR
	標準	耐風シャッターGR	標準	耐風シャッターGR	
標準					
JEM－A端子付					

※該当するものに○



E21176018

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図

窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター

雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター

シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター

窓⇒雨戸

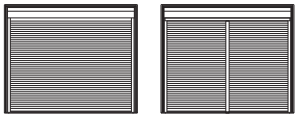
木製雨戸⇒雨戸

縮尺 1／8　単位:mm

■リモコンスリットシャッターＧＲ　出窓(出幅200)対応

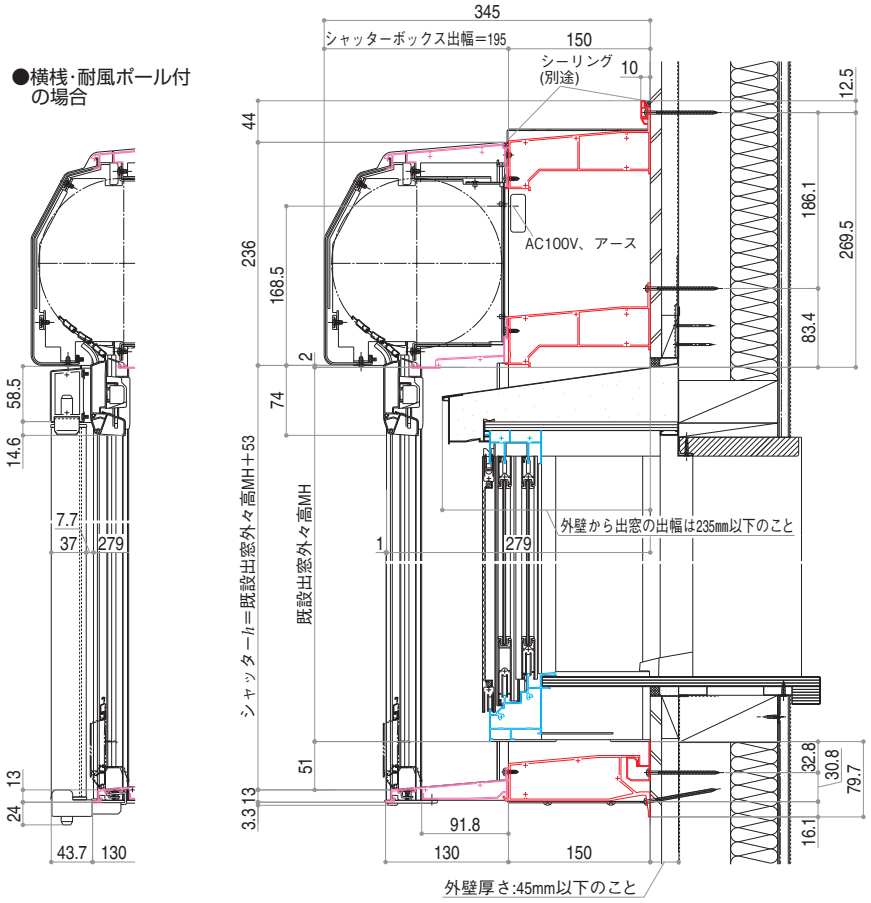
【既設枠】：台形出窓　例：出窓ＣＤＹ　居室用

在来
外観姿図

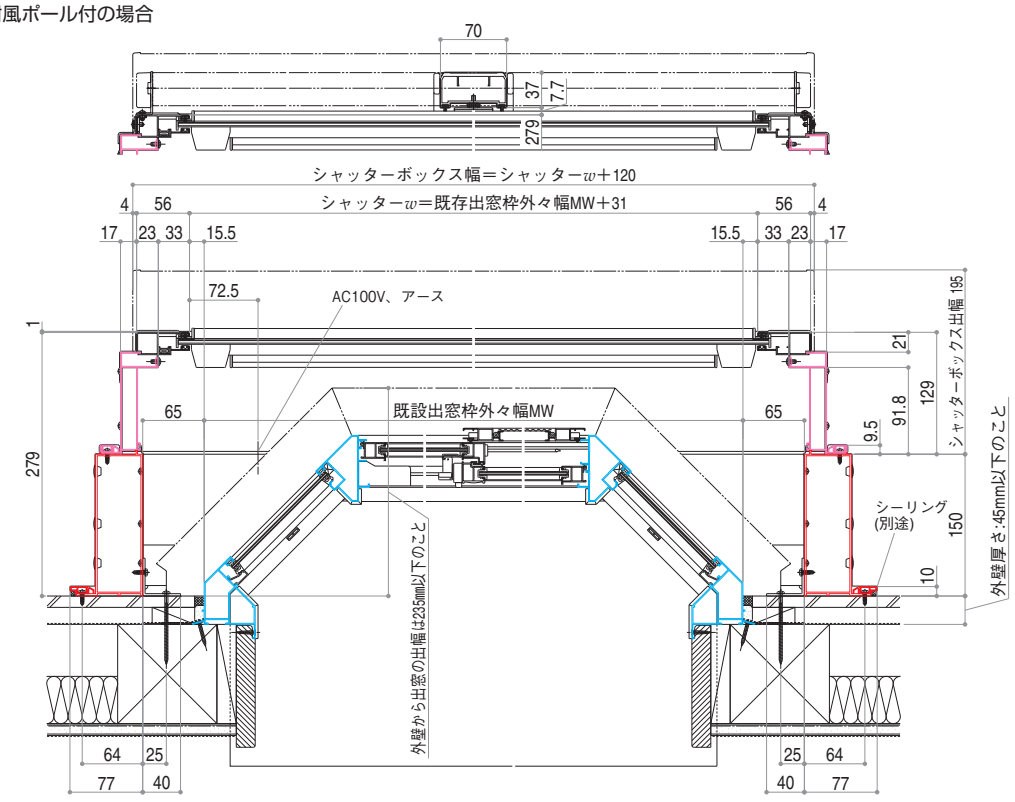


横桟･耐風ポール付

●横桟･耐風ポール付の場合



●横桟･耐風ポール付の場合



E21176015

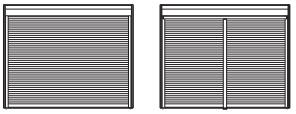
：下地部材　：新設シャッター枠　：既設窓枠

縮尺 1／8　単位:mm

■手動シャッターGR リモコンシャッターGR　出窓(出幅200)対応

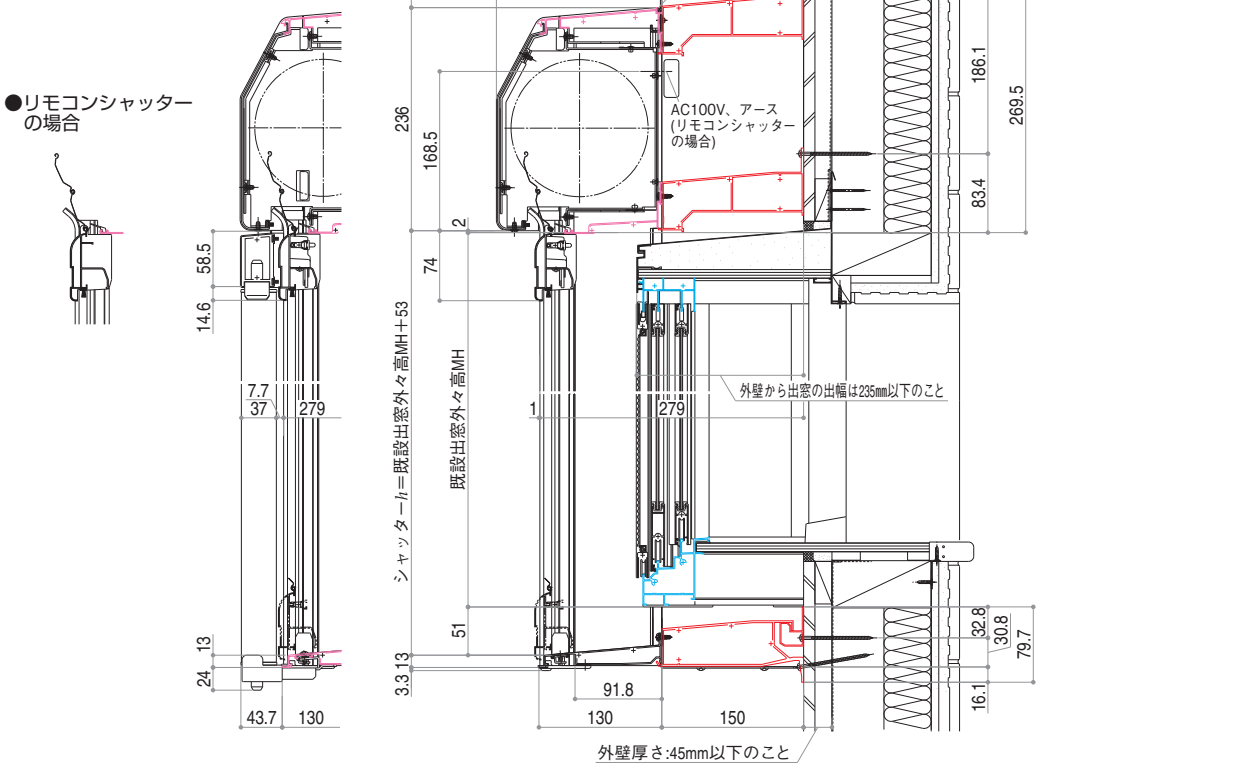
【既設枠】：角型出窓　例：出窓CDY　台所用

在来
外観姿図

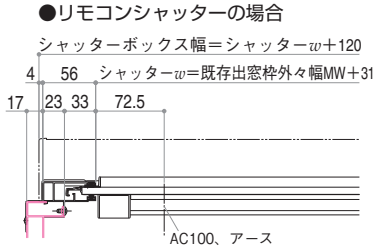


●横桟・耐風ポール付の場合

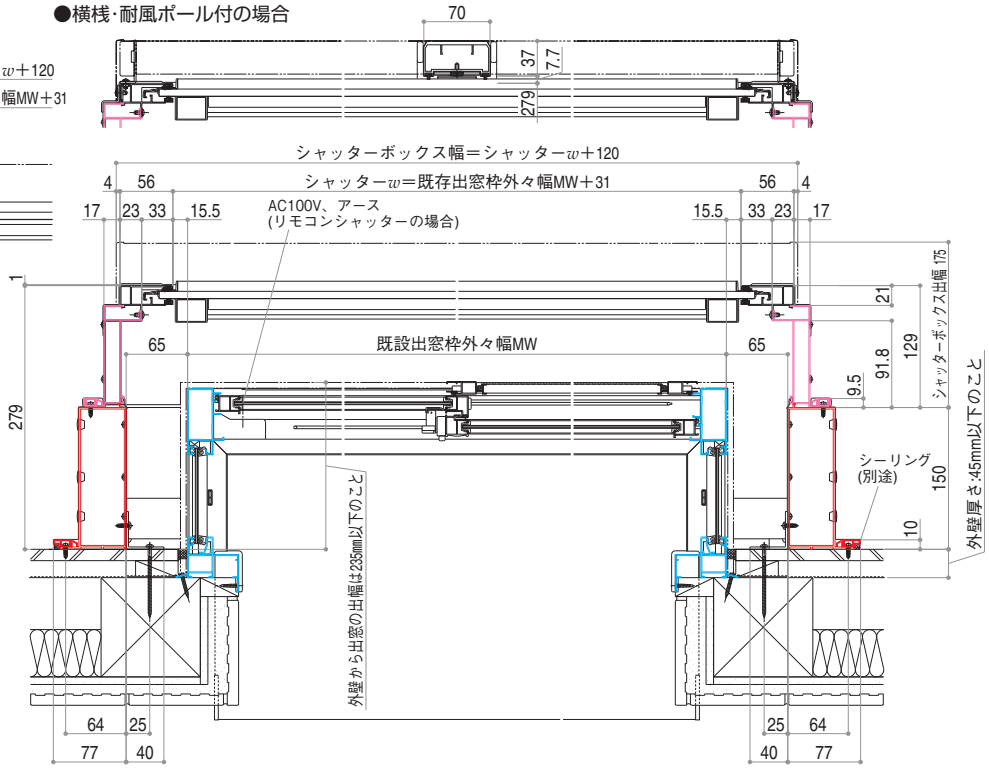
●リモコンシャッターの場合



●リモコンシャッターの場合



●横桟・耐風ポール付の場合



E21176016

手配商品一覧
規格表
オプション
仕様 製作範囲
工程概要
納まり図

窓⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター

雨戸⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター

シャッター⇒シャッター
リモコン スリットシャッターGR
リモコン シャッターGR
リモコン シャッター
手動 シャッターGR
手動 シャッター

窓⇒雨戸

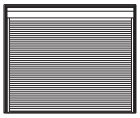
木製雨戸⇒雨戸

縮尺 1／8　単位:mm

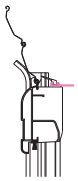
■手動シャッター リモコンシャッター　出窓(出幅200)対応

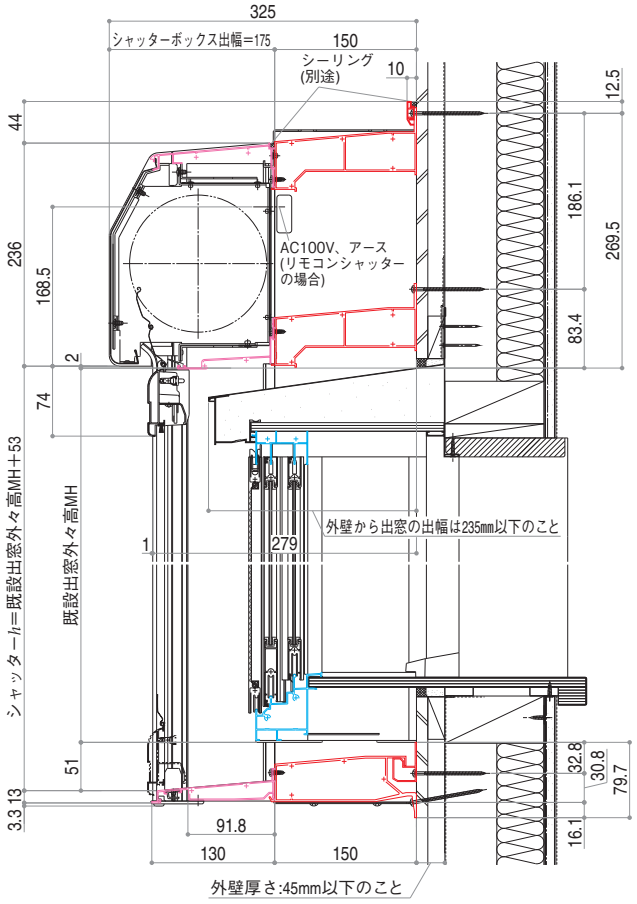
【既設枠】：台形出窓　例：出窓ＣＤＹ　居室用

在来
外観姿図

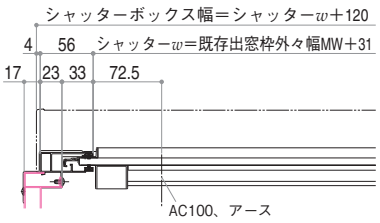


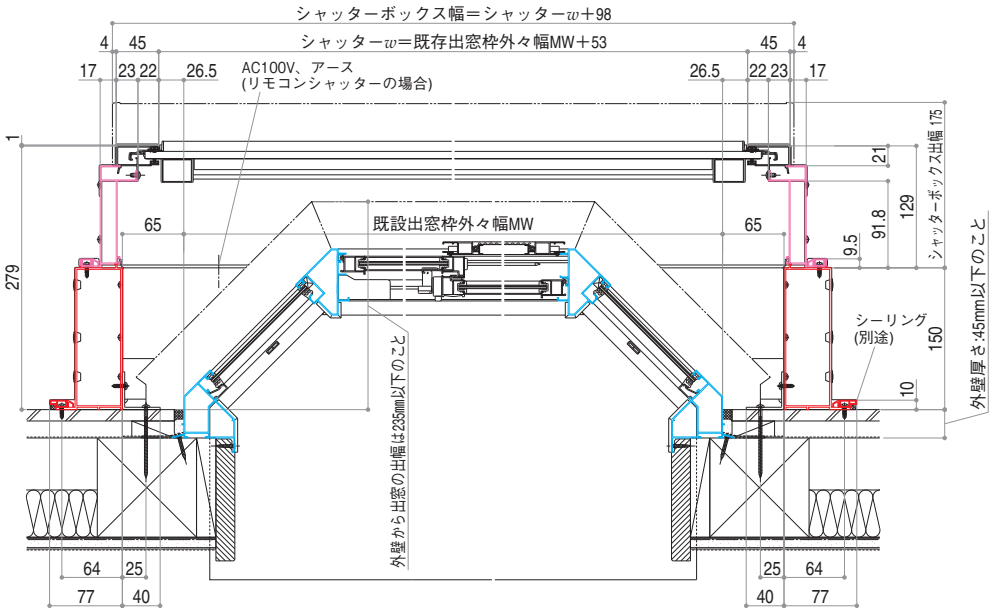
●リモコンシャッターの場合





●リモコンシャッターの場合





E21176017

■：下地部材　■：新設シャッター枠　■：既設窓枠

ご注意

マドリモシャッター土間用（リモコンスリットシャッター）の場合もリモコンスリットシャッター GR の情報を参照ください。

■採用上のご注意

〈事前確認〉

共通（マドリモシャッター）

- ●本商品を採用される場合、現地調査が必要です。
- ●本商品は、外壁仕上げ後に取付ける商品です。構造体に先付けしないでください。
- ●窓開口部用ですので、店舗（土間引戸用除く）、ガレージなどの出入口でのご使用はお避けください。
- ●本商品は木造およびRC造用です。それ以外の躯体には取付けできません。
  RC造の場合は、別途専用のねじセットの手配が必要です。
  ※バルコニー FRP防水向け工法は木造のみ対応可能です。
- ●RC造に取付ける場合、レンガ・タイル等の仕上げ面の上からの取付けはできません。必ず打放し面に取付けてください。
- ●ベランダのない所や足場のかけられない所など、メンテナンス対応のできない所への取付けはお避けください。
- ●シャッター枠および下地部材の取付ねじの位置には柱が必要です。建築図面等で窓周りの柱の位置、寸法および外装材の寸法をご確認ください。図面がない場合または図面が読み取れない場合、現場での確認が必要です。
  取付ける柱が確認できない場合にはご使用をお避けください。
  《ご注意》取付ねじが柱に固定されていないと、脱落事故につながります。また、付属のねじの対応外壁厚は45㎜以下です。十分ご注意ください。
- ●隣地境界線まで余裕のない所には取付けられません。
- ●本商品は、防火設備ではありませんので、建築基準法などにより防火設備の設置が義務付けられる部分に設置することはできません。
- ●マドリモ シャッターの取付けや、マドリモ シャッターの取付けによる窓の開口面積の減少により、建築基準法などで定められた採光/換気/排煙面積、排煙設備、非常用進入口の構造などの基準を満たさなくなるおそれがあります。あらかじめ現場条件、関連法規などをご確認ください。
- ●ボックス下げ、ボックス下げ片入隅、土間用ボックス下げの場合、室内側から見えるボックス裏面の部材の色は、シャッター枠と同色になります。
- ●両入隅への対応はできません。
- ●シャッター部連窓タイプ（中柱付）には対応できません。製作範囲表をご確認ください。
- ●引違い系以外の窓（シャッターを室内側から手動操作できない窓）にご使用の際は、リモコンスリットシャッターGR・リモコンシャッター（GR含む）をご利用ください。
- ●外開き系の窓の場合、窓が外側に開いた時にシャッターと干渉しないよう、シャッターサイズを大きくする必要があります。現地調査の際は、専用の現場調査シートで確認のうえ、シャッターサイズおよびシャッター取付位置に柱があることを確認してください。
- ●RC造に取付ける場合は、専用の現場調査シートを使用してください。また、RC造の外開き系窓に取付ける場合は別途確認が必要です。当社営業窓口にお問い合せください。
- ●バルコニー FRP防水向け工法の場合は、専用の現場調査シートを使用してください。
- ●シャッターを閉めても風雨の状況によってはスラットの内側に水が伝わることがあります。シャッターの構造上、水の浸入を完全に防ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ●窓⇒シャッターの片入隅、ボックス下げ片入隅の場合、シャッター枠より内側に入隅側の外壁が見える納まりになります。風雨の状況によっては、この外壁部分に水が伝わることがあります。商品の構造上、水の浸入を完全に防ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ●雨戸⇒シャッターの戸袋のこしの場合、商品の構造上、既設雨戸とシャッター枠の間にすき間が生じるため、水の浸入や外からの光を完全に防ぐことはできませんのであらかじめご了承ください。
- ●シャッターを閉めても外からの光を完全に防ぐことはできませんのであらかじめご了承ください。
- ●点検板付のシャッター部には以下のシャッターボックス（点検板）が同梱されています。また、標準タイプ（スチール）と標準タイプ（アルミ）は材質の違いにより、同じカラーでも色味が異なります。

	シャッターボックス点検板
リモコンスリットシャッター GR	標準タイプ（アルミ）
リモコンシャッター GR・手動シャッター GR	標準タイプ（アルミ）
リモコンシャッター・手動シャッター	標準タイプ（スチール）

共通（マドリモ取替用シャッター）

- ●本商品を採用になる場合、現地調査が必要です。
- ●既設シャッターが本商品での対応可能商品であることを確認してください。
- ●NFS用にはリモコンシャッター GR、手動シャッターGRの設定はありません。
- ●7FS（ハーフル）用には、耐風シャッターGRの設定はありません。

＜取替対象外商品＞
- ・住宅防火戸通則認定品
- ・防火窓G シリーズ シャッター
- ・APW 330防火窓 シャッター付引違い窓
- ・APW 430防火窓 シャッター付引違い窓
- ・APW 331防火窓 シャッター付引違いテラス戸
- ・APW 431防火窓 シャッター付引違いテラス戸
- ・W12尺系のシャッター
- ・下枠ノンレール引違い用シャッター
- ・APW 511 大開口スライディング用シャッター
- ・ワイドスライディング用シャッター
- ・土間引戸用シャッター
- ・シャッターウインドウ ZUTTO シリーズ
- ・ウインドウシャッター（RC・ALC用）
- ・エピソード 70 シャッター一体枠（AFS-3）※1
- ・シャッター付出窓
- ・内部操作シャッター

※1　エピソード 70 シャッター一体枠（AFS-3）は2000年以降の商品ですが、取替対象外です。（2000年4月～2001年3月販売）
※取替用シャッターは標準仕様および耐風シャッターGRの設定です。
既設シャッターが、防犯仕様の場合は、上記いずれかの仕様への交換となることをご了承ください。

＜7FS（ハーフル）用取替対象外商品＞
- ・住宅防火戸通則認定品
- ・ZUTTOシリーズ
- ・分割枠　防火戸個別認定品
- ・シャッター付出窓

- ●既設シャッターが電動シャッターの場合、配線の取外し、処理は電気工事店様にご依頼ください。
- ●本商品は木造用のため、ALC鉄骨造、RC造には取付けられません。
- ●ベランダのない所や足場のかけられない所など、メンテナンス対応のできない所への取付けはお避けください。
- ●隣地境界線まで余裕のない所には取付けられません。
- ●既設窓が引違い系以外の窓（シャッターを室内側から手動操作できない窓）の場合は、リモコンスリットシャッターGR・リモコンシャッター（GR含む）または内外錠付座板（室内側からの手動操作はできません）をご利用ください。
- ●NFS用は、既設窓が外開き型の窓の場合、シャッターを本商品に交換すると、窓が外側に開いた時にシャッターと干渉する可能性があるため対応できません。
- ●シャッターを閉めても風雨の状況によってはスラットの内側に水が伝わることがあります。シャッターの構造上、水の浸入を完全に防ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ●シャッターを閉めても外からの光を完全に防ぐことはできませんのであらかじめご了承ください。
- ●点検板付のシャッター部には以下のシャッターボックス（点検板）が同梱されています。また、標準タイプ（スチール）と標準タイプ（アルミ）は材質の違いにより、同じカラーでも色味が異なります（7FS（ハーフル）用は除く）。

	シャッターボックス点検板
リモコンスリットシャッターGR	標準タイプ（アルミ）
リモコンシャッターGR・手動シャッターGR	標準タイプ（スチール）
リモコンシャッター・手動シャッター	標準タイプ（アルミ）

- ●7FS（ハーフル）用は点検板付の場合標準タイプ（アルミ）が点検板ユニットに同梱されています。
- ●本商品は下枠に錠受が必要です。錠受がない場合や別の部品が付いている場合は現地にて錠受の取付・交換を行います。NFS用、7FS（ハーフル）用の場合、交換した錠受が、網戸取付け、取外しの際に干渉する可能性があります。その場合は、いったん錠受の取外しが必要になりますのであらかじめご了承ください。

リモコンスリットシャッターGR　リモコンシャッターGR　手動シャッターGR

- ●脱着式の耐風ポールおよび横桟を取付けることができます（オプション）。
  ※ベランダのない2階など危険な場所では、脱着を行わないでください。
  ※NFS用には横桟・耐風ポールの設定はありません。
- ●製品サイズ、耐風ポールの有無によって耐風圧性能が異なります。詳しくは仕様ページをご確認ください。
- ●シャッター端部にオプションの下部ブラケットを取付けることで、取外した耐風ポールを保管できます。
  ※別途、シャッター枠への追加加工と下部ブラケットの取付けが必要です。
  ※台風などに備える際は耐風ポールを中央に設置してください。

- ●一部機種、サイズにより設定が異なる場合があります。詳細は規格表ページをご覧ください。
- ●ご採用予定の現場状況によっては商品の設置ができない場合がありますので、現場状況をご確認のうえ、ご発注ください。

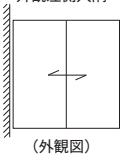
リモコンスリットシャッターGR　リモコンシャッターGR　リモコンシャッター

〈共通〉

- 浴室など電装部分に水蒸気、湯気などが入り込むような場所では使用しないでください。
- 介護者不在の場合は、別途避難経路を設けてください。
- 電気工事が必要になりますので、事前に工事時期をお打合せください。
- 手動シャッターからリモコンスリットシャッターGR・リモコンシャッター（GR含む）への取替の際にも、電気配線工事が必要になります。
- 電動モーターの出力とシャッターカーテン（座板・スラット）重量とがバランスをとりながら開閉する構造になっています。特性上、バランス状態によっては開閉途中に引っかかるような動きをすることがありますが、異常ではありません。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- 電動モーターがシャッターカーテン（座板・スラット）を下枠に押しつけることにより停止します。このため全閉時にシャッターカーテンが波打った状態に見えることがありますが、これは商品上の特性であり、機能には影響ありません。
- 非常開放機構の操作部は室内側に取付きます。停電時はリモコンやスイッチでの操作ができなくなるため、全閉時の場合、室外からのシャッターの開閉はできません。
- シャッター1台につきリモコン1個を標準装備しています。このリモコンはシャッター一斉操作用にはできません。シャッター1台ごとの設定ができなくなり、メンテナンス対応が煩雑になるためです。
- 標準装備のリモコンを紛失した場合は、オプションのリモコンを手配してください。その際、ID登録が必要になりますので、別途当社営業窓口にご依頼ください。
- リモコン1個で、シャッターを一斉操作する場合は、必ずオプションリモコン（1チャンネルリモコン・4チャンネルリモコン・タイマーリモコン）を追加してください。電波到達範囲内であれば、操作するシャッターの台数に制限はありません。
  ※オプションリモコンの追加登録作業は別途当社営業窓口にご依頼ください。
- タイマーリモコンは壁に固定する仕様です。
- リモコンの電源には電池を使用しています。電池がなくなりましたら、取扱説明書に従い、電池を交換してください。
- リモコンは一般屋内用です。下記の場所では取付けおよび使用をしないでください。絶縁不良による誤作動や故障の原因になります。
  - 屋外や屋内の湿気の多い場所、浴室など
  - 直射日光のあたる場所や、熱源に近い場所（暖房器具のそばなど、高温になる可能性のある所）
  - 腐食性ガスおよび可燃性ガスの発生する場所
  - 薬品を常時使用する場所
- リモコンの設置場所は、お子様の手の届かない位置およびシャッターの動作を目で確認できる位置にしてください。また、あらかじめ動作確認を行って決めてください。
- リモコンの電波到達距離は屋内見通し距離約20mです。
  ※電波到達距離は次のような使用場所の環境によって短くなる場合があります。
  - 金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある場合
  - 壁面内の断熱材にアルミ箔を貼付けたグラスウールを使用している場合
  - テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域、または各種無線局が近くにある場合
- リモコンシャッター（GR含む）の非常開放機構は、シャッター w<1,100㎜およびシャッター h<771㎜の場合、取替シャッター w（SW）<1,100㎜および取替シャッター h（SH）<771㎜の場合、対応ができません。別途、避難経路を設けてください。
- リモコンスリットシャッターGRの非常開放機構は、シャッター w<1,388㎜およびシャッター h<771㎜の場合、取替シャッター w（SW）<1,388㎜および取替シャッター h（SH）<771㎜の場合、対応ができません。別途、避難経路を設けてください。
- 非常開放機構の操作部は、原則、内観右側にあります。窓の開閉方式により、操作できない場合があります。窓の開閉方式を事前に確認してください。
  ※下記の場合のみ非常開放機構の操作部は内観左側になります。

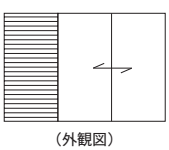
窓⇒シャッター		雨戸⇒シャッター						
		戸袋のこし				戸袋かくし		
片入隅	ボックス下げ片入隅	標準	片入隅	ボックス下げ	ボックス下げ片入隅	標準	片入隅	土間用

外観左側入隅



（外観図）

外観左側戸袋



（外観図）

- リモコンスリットシャッターGRの非常開放機構の操作部はシャッター hによって操作レバーの形状が異なります。
- リモコンスリットシャッター GRの非常開放機構はシャッター h≧1,330㎜の場合、手動で巻き上げられるシャッターの高さが操作レバーの位置までとなります。
- リモコンスリットシャッターGRは、非常開放のレバー操作の際、シャッターカーテン（座板・スラット）に触れないでください。シャッター全閉の場合、シャッターカーテンが急激に巻上がりケガをするおそれがあります。また、このとき大きな音が発生しますが、異常ではありません。
- リモコンスリットシャッターGRは、構造上、スリットの孔が垂直方向に揃わない場合があります。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- リモコンスリットシャッター GRは、構造上、開閉時にスラット同士の接触音が発生する場合があります。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- 取替用シャッターの場合、リモコンスリットシャッター・リモコンシャッターは、共通操作システムに対応していません。取替えたシャッターについては、共通操作スイッチからの操作はできなくなります。同様に、共通操作スイッチを介した当時の赤外線リモコン、HA（ホームオートメーション）での操作もできなくなります。
- 屋外露出配線にする場合、下表の納まりは配線の取り出し位置が限定されます。

納まり	窓⇒シャッター		雨戸⇒シャッター				
			戸袋のこし				戸袋かくし
	片入隅	ボックス下げ片入隅	標準	片入隅	ボックス下げ	ボックス下げ片入隅	片入隅
配線取出し位置	入隅でない側の下地部材		窓側の下地部材				戸袋側の下地部材

- ボックス下げ、ボックス下げ片入隅、土間用ボックス下げの場合、配線をシャッター本体裏から直接室内側へ引き込むことはできません。一度下地部材側から屋外に引き出してください。
- サンルーム内部のような熱がこもって高温となることが予想される場所には取付つけないでください。

〈JEM-A端子付〉

- 原則屋外露出配線はできません。
- JEM-A端子付ケーブルの配線工事が必要です。
- 通信機器やJEM-A変換アダプター、HEMS機器等は付属していません。
- JEM-A変換アダプターに接続可能なシャッターの台数は、HEMS機器メーカーの仕様によって異なります。詳細は各メーカーの仕様をご確認ください。
- リモコンスリットシャッター GR JEM-A端子付、リモコンシャッター（GR含む）JEM-A端子付に対応するJEM-A変換アダプターやHEMS機器等は当社ホームページをご確認ください。

土間用

〈共通〉

- 内側に窓や引戸のないところ（ガレージなど）への使用はできません。

〈リモコンスリットシャッターGR・リモコンシャッター〉

- 手動錠の設定はありません。シャッターが完全に閉じるとモーターロックがかかります。

〈手動シャッター〉

- 操作ロープは装備していません。オプションのフック棒をご利用ください。

バルコニー FRP防水向け工法

- 対応可能な納まりは、標準（下地部材あり）、ボックス下げです。その他の納まりには対応できません。
- W183サイズは下地部材（小）の対応はありません。下地部材（大）またはボックス下げをご選択ください。
- 隙間隠し部材の手配が別途必要です。
- 隙間隠し部材は光漏れや雨風の吹き込みを防ぐためのものですが、完全に防ぐことはできません。
- 現地加工が必要な部材があります。
- 下地部材、隙間隠し部材を必ず取付けてください。

出窓（出幅200）対応

- 出窓（出幅200）対応用部材セットの手配が別途必要です。
- 現地加工が必要な部材があります。
- 出窓の袖部がシャッター枠の影になるので、袖部からの採光量が減る分、室内が暗く感じる場合があります。
- 手動シャッターの操作時は身を乗り出さないようにご注意ください。
- 耐風ポール用下枠ブラケットの取付けはできません。オプションの耐風ポールを取付ける場合は、中央に装着したまま使用してください。耐風ポールをシャッター端部に移動することはできません。

ご注意

マドリモシャッター土間用（リモコンスリットシャッター）の場合もリモコンスリットシャッター GR の情報を参照ください。

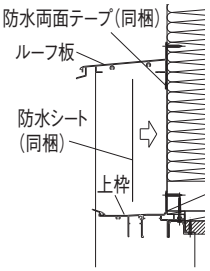
■施工上のご注意

共通（マドリモシャッター）

- 既設枠の水平・垂直・対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。既設枠の施工精度が悪いと商品本来の機能が発揮できないおそれがあります。
- シャッター本体を取付ける前に、枠の水平・垂直が適切かを確認してください。正しくないと、シャッターの開閉に支障をきたします。
- ガイドレールおよびシャッターボックスの点検口はメンテナンス時に取外しができるようにしてください。
- シャッター表面に傷をつけますと、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。
- 取付時にケーブル類を部材にはさんだり、ねじなどでキズをつけたりしないようにご注意ください。

共通（マドリモ取替用シャッター）

- シャッター本体を取付ける前に、枠の水平・垂直が適切かを確認してください。正しくないと、シャッターの開閉に支障をきたします。
- ガイドレールおよびシャッターボックスの点検口はメンテナンス時に取外しができるようにしてください。特に入隅ではご注意ください。
- 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- シャッター表面に傷をつけますと、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。
- 取付時にケーブル類を部材にはさんだり、ねじなどで傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 既設シャッター取外し後、本体取付部に透湿防水シートまたはスチール背板の有無を確認してください。無い場合は、同梱の防水両面テープを使用して同梱の透湿防水シートを貼ってください（7FS（ハーフル）用は除く）。



リモコンスリットシャッターGR　リモコンシャッターGR　リモコンシャッター

- 取付完了後、停止位置の確認調整、障害物感知機能の確認調整を必ず実施してください。

バルコニー FRP防水向け工法

- 下地部材、隙間隠し部材を必ず取付けてください。
- たて枠最下部のねじ位置は防水層部になるので、留め付けしないでください。
- 隙間隠し部材を取付ける際には、既設サッシの排水弁を塞がないように注意してください。
- 隙間隠し部材が既設サッシ枠に接して施工されていることを確認してください。

■配線・電気工事について

リモコンスリットシャッターGR　リモコンシャッターGR　リモコンシャッター

- 電気配線工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず“有資格者”が行ってください。誤った工事を行うと故障や漏電の原因になり、火事や事故につながります。
- 電気配線は、折曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないでください。漏電や感電の原因になり、火事や人身事故につながります。
- シャッターの駆動モーター、スイッチなどは電装部品ですので雨などで濡らさないでください。電装部品の故障の原因になります。電気配線は、必ず電気工事店様にご依頼ください。
- 屋外露出配線にする場合、下表の納まりは配線の取り出し位置が限定されます。

納まり	窓⇒シャッター		雨戸⇒シャッター				
			戸袋のこし				戸袋かくし
	片入隅	ボックス下げ片入隅	標準	片入隅	ボックス下げ	ボックス下げ片入隅	片入隅
配線取出し位置	入隅でない側の下地部材		窓側の下地部材				戸袋側の下地部材

- ボックス下げ、ボックス下げ片入隅の場合、配線をシャッター本体裏から直接室内側へ引き込むことはできません。一度下地部材側から屋外に引き出してください。JEM-A端子付の場合、引き出した配線を屋内に引き込んでください。配線の屋外露出部は雨露にさらさないように保護してください。
- JEM-A変換アダプターやHEMS機器等の接続および設定方法は、接続しようとしている機器メーカーのカタログや技術資料をご確認ください。
- AC100V以外の電源は使用しないでください。
- AC100V配線やアース線はVVF-φ1.6㎜または同等以上のケーブル・電線をご使用ください。
- 配線作業時は、電源を切って行ってください。
- AC100V配線には、漏電遮断器を通してください。
- AC100Vと電源中継ケーブル接続に必要なジョイントボックスや露出配線の際に使用するカバー材などの電設資材は別途市販品をご使用ください。
- アース工事は必ず行ってください。
- メンテナンスを容易にするために専用ブレーカーの設置をおすすめします。

■使用上のご注意

共通

- ご使用の際は商品に貼ってあるラベルや取扱説明書（使い方&お手入れガイドブック）などをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 開閉時、周りに人がいないことを確認してください。また、開閉中は下を通らないでください。手や足をはさまれるおそれがあります。
- ガイドレール、下枠に物が置かれていないか確かめてから操作してください。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押したりしないでください。思わぬケガをしたり、シャッターが故障するおそれがあります。
- 強風雨時にはシャッターだけでなく内側の窓も閉めて、必ず施錠してください。シャッターの破損による事故や漏水につながります。
- 防犯性向上のため、内側の窓も必ず施錠してください。
- スラット表面が濡れた状態のままシャッターを開閉すると、手や床を濡らすことがあります。これは巻取りによりスラットが重なり、表面の水が内側に付くためです。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- シャッターを閉めても外からの光を完全に防ぐことはできません。
- シャッターが凍結した場合、解けるまで開閉操作しないでください。無理な操作は故障につながります。
- シャッターボックスに乗ったり、はしごをかけたりしないでください。無理な重さをかけると、変形して故障したり、転落によりケガをするおそれがあります。
- 本商品を外開き型の窓に取付けた場合は、必ず窓が閉まっていることを確認してからシャッターを操作してください。
  また、シャッター全開状態以外で窓を開閉しないでください。商品の破損につながります。

リモコンスリットシャッターGR　リモコンシャッターGR　手動シャッターGR

- 脱着式の耐風ポールおよび横桟を取付けることができます（オプション）。
  耐風ポールを装着した状態でもシャッターの開閉が可能です。
  ※ベランダのない2階など危険な場所では、脱着を行わないでください。
- 製品サイズ、耐風ポールの有無によって耐風圧性能が異なります。詳しくは仕様ページをご確認ください。
- シャッター端部にオプションの下部ブラケットを取付けることで、取外した耐風ポールを保管できます。
  ※別途、シャッター枠への追加加工と下部ブラケットの取付けが必要です。
  ※台風などに備える際は耐風ポールを中央に設置してください。

- 一部機種、サイズにより設定が異なる場合があります。詳細は規格表ページをご覧ください。
- ご採用予定の現場状況によっては商品の設置ができない場合がありますので、現場状況をご確認のうえ、ご発注ください。

リモコンスリットシャッターGR　リモコンシャッターGR　リモコンシャッター

●シャッターを故意に連続開閉するのはお避けください。約5分間連続開閉させると、モーター保護装置が働き、自動的に電源を切って停止します。10～20分程度休ませると再び開閉操作が可能となります。
●シャッター開閉速度は、風などの圧力がかかった場合、多少の変化が生じることがあります。
●電動モーターの出力とシャッターカーテン（座板・スラット）重量とがバランスをとりながら開閉する構造になっています。特性上、バランス状態によっては開閉途中に引っかかるような動きをすることがありますが、異常ではありません。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
●電動モーターがシャッターカーテン（座板・スラット）を下枠に押しつけることにより停止します。このため全閉時にシャッターカーテンが波打った状態に見えることがありますが、これは商品上の特性であり、機能には影響ありません。
●シャッターボックス内部には、駆動装置や電子ユニットが組込まれています。清掃時、これらに水がかからないようご注意ください。水がかかると故障するおそれがあります。
●シャッターが完全に閉じると自動的にモーターロックがかかります。リモコンスリットシャッターGRは、スリットを開けた状態で使う際に故意にシャッターをずり上げられることを防ぐため、手動錠を標準装備していますが、防犯性を保証するものではありません。
●シャッターを開閉する際は、手動錠（リモコンスリットシャッターGR：標準、リモコンシャッター（GR含む）：オプション）が解錠されていることを確認してから行ってください。（土間用には手動錠の設定はありません）
●リモコンスリットシャッターGRは、構造上、スリットの孔が垂直方向に揃わない場合があります。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
●リモコンスリットシャッター GRは、構造上、開閉時にスラット同士の接触音が発生する場合があります。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。

〈リモコンについて〉

●シャッター1台につきリモコン1個を標準装備しています。このリモコンはシャッター一斉操作用にはできません。シャッター1台ごとの設定ができなくなり、メンテナンス対応が煩雑になるためです。
●リモコンの電源には電池を使用しています。電池がなくなりましたら、取扱説明書に従い、電池を交換してください。
・電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万が一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
・使用済みの電池は、お住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。
●リモコンは一般屋内用です。下記の場所では取付および使用をしないでください。絶縁不良による誤作動や故障の原因になります。
・屋外や屋内の湿気の多い場所、浴室など
・直射日光のあたる場所や、熱源に近い場所（暖房器具のそばなど、高温になる可能性のある所）
・腐食性ガスおよび可燃性ガスの発生する場所
・薬品を常時使用する場所
●リモコンの設置場所はお子様の手の届かない位置およびシャッターの動作を目で確認できる位置にしてください。また、あらかじめ動作確認を行って決めてください。
●リモコンの電波到達距離は屋内見通し距離約20mです。
※電波到達距離は使用場所の環境によって短くなる場合があります。
●リモコンを落としたり濡らしたりすると故障の原因になります。
●リモコン裏面のプログラムボタンを押さないでください。しばらくの間正常な操作が行えなかったり、再設定が必要になることがあります。
※プログラムボタンは施工・設定時に使用しますが、通常操作では使用しません。
●頻繁にリモコンのボタン操作を行わないでください。一時的に送信できなくなりますが、特定小電力無線設備（※）のためで故障ではありません。
※特定小電力無線について… 送信時間に制限があり、送信時間（連続または断続のボタン操作）が5秒に達すると、自動的に2秒間の休止時間が設けられています。ボタン操作を行わない状態が2秒以上経過すると、休止が解除されます。
●リモコンは、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼付けられている表示（㊣マーク）は、その証明マークです。表示マークの貼付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられることがあります。

〈オプションリモコンについて〉

●リモコン1個で、シャッターを一斉操作する場合は、必ずオプションリモコン（1チャンネルリモコン・4チャンネルリモコン・タイマーリモコン）を追加してください。電波到達範囲内であれば、操作するシャッターの台数に制限はありません。
※オプションリモコンの追加登録作業は別途当社営業窓口にご依頼ください。
●タイマー リモコンは壁に固定する仕様です。

〈非常開放機構について〉

●非常開放操作は非常時以外行わないでください。
●介護者不在の場合は、別途避難経路をご確認ください。
●リモコンスリットシャッターGRは、非常開放のレバー操作の際、シャッターカーテン（座板・スラット）に触れないでください。シャッター全閉の場合、シャッターカーテンが急激に巻上がりケガをするおそれがあります。また、このとき大きな音が発生しますが、異常ではありません。
●リモコンスリットシャッターGRの非常開放機構はシャッターh≧1,330㎜の場合、手動で巻上げられるシャッターの高さが操作レバーの位置までとなります。

〈障害物感知機能について〉

●シャッター開口下部約5㎝の範囲では障害物を感知しません。
●リモコンスリットシャッターGRはガイドレール左右の内側約5㎝の範囲では障害物を感知しません。
●リモコンシャッター（GR含む）は停電復帰後の1回の開閉動作中は、障害物感知はしますがその場で停止となります（反転上昇はしません）。上下限位置の自動調整をしているためで、異常ではありません。
●感知エリアであっても、使用条件・障害物の位置により感知するまでに時間がかかる場合があります（感知するまでの間、モーターの回転によってボックス内でシャッターカーテン〔座板・スラット〕が巻太ります）。
●ボックス内で巻太った状態で無理に障害物を取除くと、シャッターカーテン（座板・スラット）がずり下がることがあります。障害物を取除く際には、必ずリモコン操作にてシャッターを一旦巻上げてください。
●本機能は、シャッターカーテン（座板・スラット）・障害物の破損防止などを保証するものではありません。

手動シャッター GR　手動シャッター

●シャッターを閉める時は、完全に座板を押し下げて施錠状態を確認してください。

土間用

〈共通〉

●本商品をドアに取付けた場合は、必ずドアが閉まっていることを確認してからシャッターを操作してください。また、シャッター全開状態以外でドアを開閉しないでください。商品の破損につながります。

〈手動シャッター〉

●操作ロープは装備していません。オプションのフック棒をご利用ください。
●閉め出され防止のため、全閉にしても自動ではロックがかかりません。鍵のかけ忘れにご注意ください。

バルコニー FRP防水向け工法

●シャッター下枠には乗らないでください。
●隙間隠し部材は光漏れや雨風の吹込みを防ぐためのものですが、完全に防ぐことはできません。

出窓（出幅200）対応

●出窓の袖部がシャッター枠の影になるので、袖部からの採光量が減る分、室内が暗く感じる場合があります。
●手動シャッターの操作時は身を乗り出さないようにご注意ください。
●耐風ポール用下枠ブラケットの取付けはできません。オプションの耐風ポールを取付ける場合は、中央に装着したまま使用してください。耐風ポールをシャッター端部に移動することはできません。

不具合が生じた場合、当社営業窓口またはY・E・S サービスセンターにご連絡ください。